

お店を開こう！！

—商品制作・販売活動など体験活動を通して、経済の仕組みを理解させる—

(総授業時数：25 時間)

実施学年、教科等

第5学年～第6学年 総合的な学習の時間

単元の目標

- (1) 必要に応じて、身近な人に聞いたり地域の店を取材したりして、よりよいお店作りについて課題を追究し解決することができるようにする。
- (2) 自分が開きたい店について考え、計画を立て、必要なものをそろえて制作したり販売したりすることができるようにする。
- (3) 他学年の児童や大人（教師や保護者）とも自ら進んでかかわりを深め、自分のよさや他人のよさに気付くことができるようにする。
- (4) 売上金の使途についての話し合いを通して、自らの生き方について振り返ることができるようにする。

学習の評価

- (1) 必要に応じて、身近な人に聞いたり地域のお店を取材したりして、よりよいお店作りについて課題を追究している。
(ワークシート)
- (2) 自分が開きたい店について考え、計画を立て、必要なものをそろえて制作したり販売したりしている。
(企画書・作業工程表)
- (3) 伝えたいことを相手に分かりやすく工夫して表現し、自ら進んで他学年の児童や大人（教師や保護者）とかかわりを深め、自分のよさや他人のよさに気付いている。
(実践記録)
- (4) 売上金の使途についての話し合いを通して、自分たちのできることを考え、自らの生き方を振り返っている。
(ワークシート)

展開の特色

小学校段階での経済の仕組みや在り方に気付かせるために、校内に児童の手作りの店を開店し運営させ、資金計画や利益金の使途などを考えさせていく。学年差や各教科等との関連を図るために、それぞれの学年に指導の重点を設定し、活動計画や役割分担をする際に、次のようなことに気付くことができるような学習展開を期待したい。

- 5年生・・・社会科との関連を図りながら商品の広告や店作りの工夫
- 6年生・・・全体の利益率を高めるための工夫

コストのもつ意味を考えさせ、客のニーズを踏まえた品物を販売していく経験を重ねていくことで自己と他者や社会との適切な関係を構築する力を育て、将来の精神的、経済的自立を促しながら児童の金銭感覚を豊かに育てていきたい。さらには実際に販売に携わる人々との学習の場を設定し、仕事に誇りをもち、消費者のニーズや世の中の変化に対応するための工夫をしていることをつかませたい。

その他

- (1) 家庭へ学習の趣旨等を事前に連絡し模擬銀行券の購入や商品制作のボランティア等の協力をお願いする。
- (2) 商店街を見学に行けるように準備し聞き取り調査ができるようにする。
- (3) 商品を作成するために必要な材料をそろえる。
- (4) 異年齢によるグループを編成し、活動時間を確保するために各学年の時間割を調整する。
- (5) 自校の評価の観点を踏まえながら観点を設定する。行動観察や自己評価カードを活用した振り返り、ポートフォリオを活用した評価を中心に児童の取り組みを見取れるようにする。
- (6) なお、本指導計画をもとに3～6年まで縦割り班活動で取り組むことが可能である。

「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

*記号については、P.32～45を参照。

Aーア、Bーア・イ・ウ、Cーア、Dーア・イ・ウ

学習内容のキーワード

お店作り、仕入れ・製造・販売・宣伝、役割分担、費用、価格設定、販売の工夫、銀行、模擬銀行券、計算、利益金の使途、社会貢献

1 金融教育のねじりと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

●指導計画

時数	ねらい	●学習内容 ・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他 (教科等との関連)
1 2	学習のねらいをつかませ、自分の身に付けたい力を設定することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の進め方を知り、学習に見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習全体の流れ ・学習の進め方 ・学習過程の進行日程 ・身に付けたい力 ●昨年度の「お店開店プロジェクト」について振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度開店された店のジャンルの分類 ・売上げや利益との関連 ・売上げの高かった理由 	<ul style="list-style-type: none"> ◆経済の仕組みや在り方に気付かせるために、自分たちで店を運営し、資金計画や利益金の使途などを考えさせることを目的とした学習であることを知らせる。 ◆開店までの見通しをもつために日程表を作成し、自分の学習の位置や状況を把握させる。 ◆売上高を高めた理由を明らかにすることで売れる商品やお店を作るために必要な要素は何かをつかませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★前年度に同様の実践がある場合には、振り返りをしながら今年度の学習に見通しをもたせていく。 ★一番売上げの高いお店が売上金を高くてきた理由について考えさせる。 ★身に付けさせたい力を明らかにする。 	・理科での問題解決的学習での学び方
3 4	お店の仕組みについて調べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ●お店の仕組みを調べ、仕入れ、製造、販売、宣伝の仕事などを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・お店の仕組み ・お金の仕組み ・売買や売上げの仕組み ・お金の流通について ・サービスを受ける会社の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆お金の流通する仕組みを理解させる。 ◆店を運営するために必要な仕事内容等をつかませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★経済の仕組みの基礎に気付かせる。 ★家賃、リース料や持ち込み料、人件費などが存在することも押さえておく。 	・社会科の地域学習
5	お店のテーマを決めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ●「～のお店」に関するよい点と問題点を明らかにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・品数と制作時間の関係 ・商品価値と値段の関係 ・品質と労働力との関係 ・開店したい店のコンセプト 	<ul style="list-style-type: none"> ◆店を運営する上でコンセプトがなければいけないことを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★お店のコンセプトについては、願いと使命感が込められたものになるように指導する。 ★話し合いから課題を意識化させる。 	・学級活動の目標設定に関する学習経験
6	学習のゴール（目標到達点）を明確にすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ●「こうしたお店にしたい」というチームの思いや願いを明らかにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・店に対する思いや願い ・運営における工夫（努力） ・閉店後の理想の姿（目標到達点） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆店を円滑に運営するための工夫を設定させ、お店に願いや思いを込めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★店の運営とは、金儲けのためだけにやっているのではないことを知らせる。 	・国語の「話す・聞く」領域での学習技能
7 8	具体的な商品開発について話し合い、ゴール達成への「戦略」を立てるためにこれからすべきことをイメージすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ●役割分担や具体的な商品について相談する。 <ul style="list-style-type: none"> ・商品の検討 ・商品開発 ・自分一人ですべき仕事や方法 ・個々の力量や能力 ・店の運営戦略 ・店長、副店長、会計部長、材料部長、道具部長、宣伝部長、販売部長などの役割分担 	<ul style="list-style-type: none"> ◆お店を運営するには、様々な役割で仕事に取り組む人々が必要となり、それぞれ努力や工夫をしていることを体験的にとらえさせる。 ◆商品開発に必要な視点として、お客のニーズなどを意識させるようにする。 ◆自分の能力をしっかりと見極めさせる。 ◆自分たちの力でできそうな品物なのか、売れる物なのかを判断し相談しながら商品を決めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★役割分担として、店長、副店長、会計部長、材料部長、道具部長、宣伝部長、販売部長の役割を設定する。 ★ゲームコーナーなどのサービスも商品であることに気付かせる。 ★自分のできる、できないことを明確にしておくことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科での地域学習 ・委員会活動 ・「話す・聞く」領域での学習技能
9	チームで「戦略」を立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ●チームで開店準備の見通しを立てるためにブレインストーミングする。 <ul style="list-style-type: none"> ・仕事、時間、方法、必要な物など ・すべきことの重要度や優先順位の決定 ・開店にかかる資金の計算（家賃、原材料費、レイアウトや飾り付けの費用、広告費、道具レンタル費、持ち込み費など） ・値段設定 ・売上げ予想 	<ul style="list-style-type: none"> ◆開店までの準備の見通しをもたせる。 ◆開店場所には家賃を設定し資本金の中から開店場所を考えさせるようにする。 ◆開店資金を計算させ、自分たちの願いや思いを実現できるか考えさせる。 ◆開店にかかる費用を計算した上で、それに見合った値段を設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★人通りの多い場所（一等地）は高値となるように、人通りの少ない場所（四等地）は安値になるように家賃を設定する。 ★開店にかかる費用について分かる資料を作成し、イメージがもちやすいようにする。 ★設定した値段に対して自分たちが作る商品の数から売上げを予想させる。 ★売上げを予想させる活動に価値をもたせるため、当日の結果に対して「ニアピン賞」や「ピタリ賞」を作り表彰するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的学習での学び方 ・算数の学習技能
10		<ul style="list-style-type: none"> ●開店場所を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・家賃 			

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に際して
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に際して
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

●指導計画

時数	ねらい	●学習内容	・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他 (教科等との関連)
11	企画書・作業工程表を作成することができる。	●前時の話し合いを受け、自分たちの開店に向けての計画をまとめる。 ・企画書 ・作業工程表の作成 [必要な材料・道具・作る個数・宣伝方法・開店する場所]		◆企画書や作業工程表を作成させ、自分たちの仕事に責任と計画性をもたせる。	★もうけや品物を売るための工夫についても検討させ、仕事分担、準備する物等を記入させる。	・問題解決学習での学び方
12	商品を作るための仕組みについて考えることができる。	●「〇〇小銀行」の仕組みや「商店、問屋、広告代理店、人材派遣会社」の仕組みを知る。 ・銀行券の役割 ・銀行券の流れ ・銀行券の受け取り ●材料の仕入れの仕方や広告の活用方法などについて考える。 ・材料の購入の仕方 ・カタログと販売リスト ・商品注文表 ・リース料（返却すると返金のあるデポジット制）と持ち込み料 ・無料広告掲示場所と有料広告掲示場所 ・ポスター制作の代行 ・校内放送によるCM放送権の販売 ・当日に配るチラシ印刷業務 ・人材派遣の申請 ・人件費		◆「〇〇小銀行の仕組み」を理解させる。 ◆流通するお金の単位を決め模擬銀行券を発行するようにする。 ◆銀行券を使った材料の仕入れ、商品の製造、販売と消費について学習させる。 ◆材料の購入の仕方を知り、商品注文表にて発注、購入させる。購入後、収支決済させる。 ◆道具についてはリース料を設けて貸し出す。使用後、きちんと返却すると返金されるデポジット制も取り入れるようにする。 ◆広告代理店の活用については、それぞれの販売戦略に応じて購入できるようにする。 ◆自分たちの商品と労働力を見つめ、保護者による人材派遣が必要かどうかを判断させ、必要な場合には申請させる。	★材料を仕入れるためには材料の購入、注文の仕方、値段、リース料金、持ち込み料等についても検討しなくてはいけないことを伝える。 ★カタログや販売リストに載っていない商品については相談に応じる形をとるようにする。 ★持ち込み料は商店の販売金額より割高に設定するようにする。 ★広告代理店が販売する有料広告掲示場所は人通りが多く、注目度の高い場所ほど高値とする。	・社会科での地域学習や産業学習での知識理解
13						
14	お店見学に行き、自分たちの思いや願いを相談することができる。	●店の見学やインタビューを通して、成功するためのイメージをつかむ。 ・店の見学 ・市場調査（消費者のニーズ） ・世の中の流れ（季節や流行） ・商品開発の流れや商品販売について ・店のレイアウトについて ・商品の陳列方法について ・POPの書き方		◆店の販売戦略をつかませる。 ◆市場調査を実施し消費者のニーズなどをつかませる。 ◆販売に携わる人々は、仕事に誇りをもって働いていることや店の工夫や努力を学べるようにする。	★お店の陳列やレイアウト、販売の工夫に目を向けさせる。 ★販売するための工夫に気付かせる。	・社会科で身に付けた学習技能 ・図工で培ったデザイン能力 ・数学的表現力
15	前時までの指導を受け、計画を見直すことができる。	●品物を作る計画及び宣伝計画を相談する。 ・道具や材料の確認 ・宣伝ポスター制作 ・売り上げ予想の再計算		◆企画会議を実施させる。 ◆商品の売り上げ予想をさせ、その結果から計画を見直させる。商品制作と販売に関するインフレとデフレについて説明するようにする。	★効果的なポスターを書くための視点を考えさせる。	・図工で培った道具の扱い方
16	品物を制作することができる。	●品物を作る(1) ・出店場所 ・道具の追加貸出、持ち込みについての手続き ●品物を作る(2) ・手持ち資金の返却 ●品物を作る(3) ・品物の仕上げ ・不良品の確認 ・商品のラッピング ・値段の添付 ・リースしている道具の返却		◆商品を制作する工夫や努力をつかませる。 ◆商品を作る楽しさを味わわせる。 ◆資金管理をしっかりとさせる。 ◆効率のよい作業方法を考えさせる。 ◆商品の見せ方・並べ方を考えさせる。 ◆レンタルした物品はしっかりと返却させる。	★品物を作るための作業工程をしっかりと計画させる。 ★1・2年児童も参加する。 ★保護者ボランティアの協力を得る。 ★商品として値打ちのあるものにする。	・図工や家庭科で身に付けた学習技能 ・「話す・聞く」領域での学習技能
17						
18						
19						
20						
21	開店準備をすることができる。	●開店の準備をする。 ・開店までの手順 ・飾り付けやレイアウト ・商品の陳列 ・看板やチラシの準備 ・立地条件 ・店のイメージ		◆立地条件や店のイメージを意識させ店内のレイアウトを考えさせる。 ◆お客が興味をもつ宣伝方法を考えさせる。	★各班で相談して進めさせる。 ★道具が必要な場合にはリースさせる。	・図工や家庭科で身に付けた学習技能
22						

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

●指導計画

時数	ねらい	●学習内容	・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他 (教科等との関連)
学校行事	開店することができる。	●店を開き、A Bチームに分かれて活動する。 ・商品の販売 ・商品の購入 ・値段変更の検討 ・店舗の宣伝 ・売上金の計算		◆販売活動の楽しさ、買い物をする楽しさを味わわせる。 ◆販売状況により、売上高や利益を上げるため、値段を変更できる時間帯を設定する。	★授業参観として保護者が参加できるようにする。 ★売上金の計算は6年児童及び会計担当に行わせる。 ★原則として事前に設定した値段で販売することをルールにする。	
23	売上金の使い方について話し合い、よりよい使い方を考えることができる。	●売上金の活用の仕方を決める。 ・売上金の活用方法についての話し合い	・チームごとの発表	◆売上金を計算させ利益についても計算させる。 ◆売上金の活用の仕方について考えさせる。 ◆売上金の使い方を考えることで社会貢献する大切さを学ばせるようにする。	★児童の意見を引き出せる指導を心がける。 ★各班の発表を聞き、再度話し合う場面を設定するようにする。	・算数の学習技能 (四則計算中心)
24	自分の成長について考え、自分の成長を実感することができる。	●自分の成長を明らかにし、自分の成長について考える。 ・成長とはどんなことなのか ・自分の成長についての発見			★目に見える成長(スキル面)と目に見えない成長(思考面)の2つの視点をもって自分の成長を考えさせる。	・書く技能 ・自己肯定感
25	相互評価し合い自分が気付いていない成長を明らかにすることができる。	●自分の成長を皆に伝え、相互評価し合う。 ・自分の成長(学んだことを含む)のスピーチ	・相互評価		★互いの頑張りを認め、励ませるよう声かけする。	・「話す・聞く」領域での学習技能 ・表現力

※参考「各教科との関連について」

- 〔国語〕話し合いの場面では、国語の「話す」「聞く」単元での学習経験を想起させ生かす。
- 〔算数〕材料費購入の経費、売り上げの予想、利益高などの計算を行う際にこれまで学んだ四則計算を活用し正確かつ迅速な会計を行う。市場調査を行う際にはグラフ化し状況を把握しやすいようにする。
- 〔社会〕3年の地域学習でお店の工夫や努力について学習した経験を生かし、販売活動や宣伝活動を工夫することにつなげるようにする。お金や流通などへの興味、関心を高めるため、お金の歴史や銀行の働きについての学習など発展的な学習内容を検討する。
- 〔理科〕開店するまでの準備の見通しや取り組み状況から考えられる結果を予測するなど、幅広い視野で活動するための土台づくりにつなげるようにする。

- 〔図工〕宣伝活動に主となるポスター、広告、チラシなどを制作する際に図工で培ったデザイン能力を生かしていく。お店のレイアウトや陳列方法、商品の見せ方、値段表などにも図工での学習経験を生かしていく。商品制作では道具の使い方を下学年に教えたり商品の作り方を説明したりする段階でこれまでの学習経験が生かされるようにする。
- 〔家庭科〕リサイクルの視点や気持ちのよい店の雰囲気作りなどを考えていく視点を生かして商品開発や商品生産に取り組んでいくことができる。後片付けの場面では、ゴミの4R活動に着目させることもできる。商品の「おやつ」の栄養価について調べたりレシピを作成したりするなどの学習もできる。自分の商品購入について振り返らせることでよりよい消費者意識を高めていく。



1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

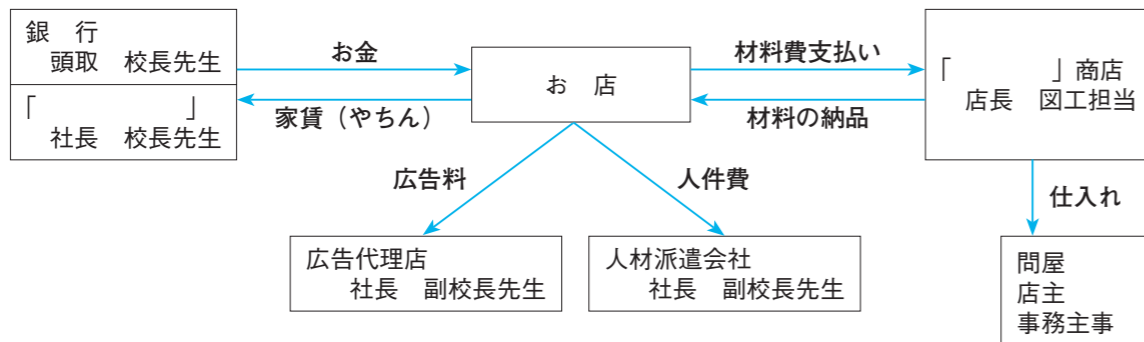
資料

●教材・資料 (授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

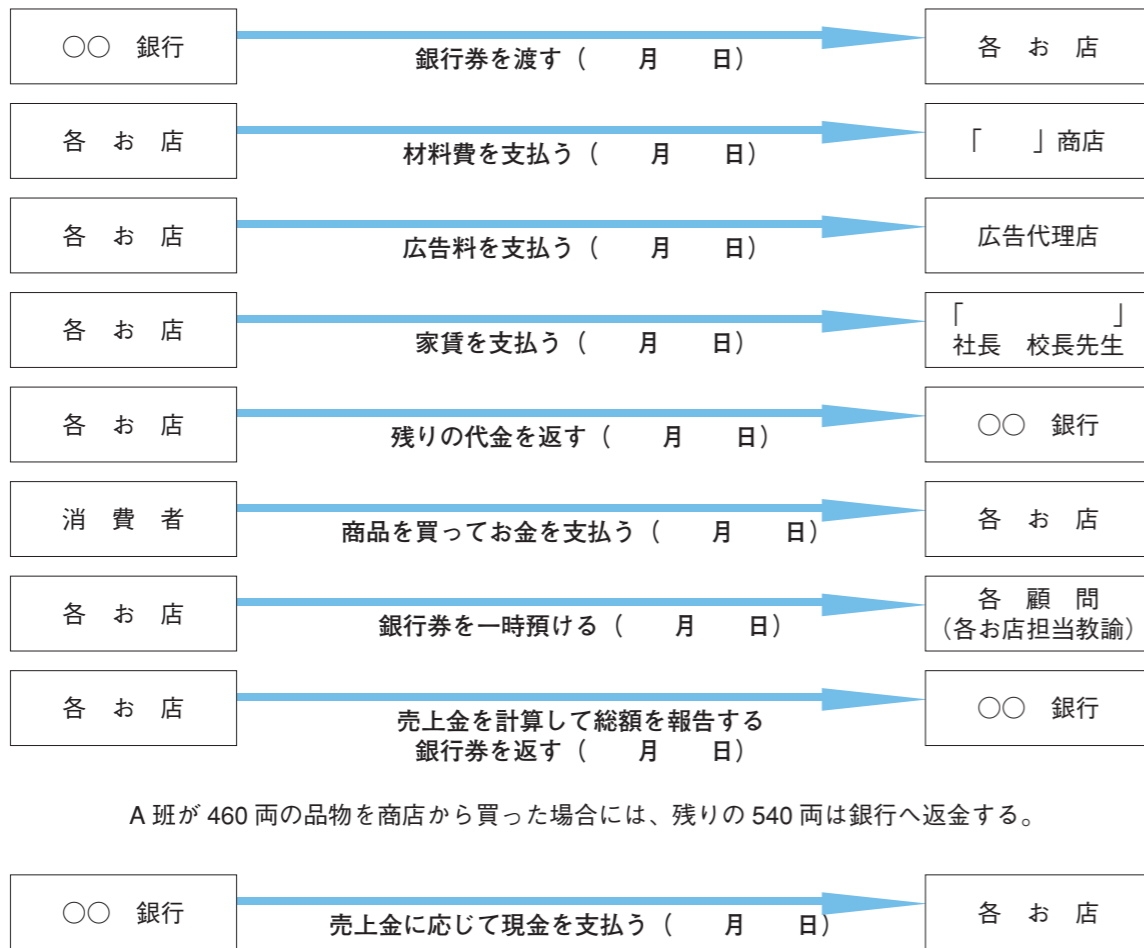
お店開店プロジェクト

年 組 名 前 ()

1. お店の仕組み



2. 銀行券の流れ



A班が460両の品物を商店から買った場合には、残りの540両は銀行へ返金する。

1 金融教育のわらわらと
基本的性格

2 金融教育の
目標と方法

3 金融教育を支援する
関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の
作成と実施に向けて

5 小学校における
金融教育

6 中学校における
金融教育

7 高等学校における
金融教育

資料